

## ナシシロナガカイガラムシ

広葉樹の幹や枝につく細長い白いカイガラムシ。最大長約3mm。表面の白い殻が取れると茶色になる。  
街路樹のナナカマドなどでときどき多発する。



1. 成虫，長さ3mm。2001/5/8.



2. 1の拡大.

美唄市，庭のセイヨウナナカマド.

【学名】 *Lopholeucaspis japonica*

【分類】 カメムシ目 (Hemiptera) , マルカイガラムシ科 (Diaspididae)

【分布】 北海道，本州，四国，九州.

### 【生態】

宿主：カバノキ科，ニレ科，バラ科，カエデ科，ツツジ科，モクレン科ほか様々な広葉樹。

年1回発生。幼虫越冬。春に成虫になり産卵する。幼虫は晩春に孵化し，幹や枝で吸汁加害する。

### 【天敵】

ヒメアカボシテントウがこのカイガラムシを捕食する。

### 【被害】

本州ではモクレンやコブシで被害が大きいといわれる。北海道では庭木などに普通にみられるが，多発記録はナナカマドで数例あるにすぎない。

### 【文献】

1980. 河合省三. 日本原色カイガラムシ図鑑. 全国農村教育協会，東京. (分類，形態，生態)

ナシシロナガカイガラムシ kaigara/nasisiro/  
kaisetu.htm

「文章」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001/8/15.

1seichu1.JPG, 1seichu2.JPG

「写真1～2」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001.